

目で見る老年看護学

第3版

Geriatric nursing



ご好評いただいた第2版を継承し、高齢者の理解について、段階的かつ系統的に学べるように構成されたシリーズです。重要な内容をピックアップし、映像やCGのリニューアル化によって、わかりやすさを追求しました。さらに新しい知見を取り入れ、高齢者およびその家族への援助を学べる密度の濃い内容になっています。老年看護を学ぶ学生には必見の動画です！ぜひご活用ください。

■ 全7巻 ■ 各巻価格 ¥28,000 (税込 ¥30,800)
■ セット価格 ¥196,000 (税込 ¥215,600)



NEW

■ 総監修：堀内 ふき 佐久大学 学長



VOL.1 高齢者の生理機能 I ■ 感覚・運動・神経系 32分

■ 制作協力：山本 恵子 九州看護福祉大学 教授
老化とは何か(4つの力の低下、生理的老化、病的老化)について触れ、感覚系では、視覚の変化(老視、白内障)、聴覚・平衡感覚の変化(難聴など)、運動系では、骨の変化(骨量、骨粗しょう症など)、関節・筋の変化(変形性関節症、サルコペニアなど)、神経系では、神経細胞の変化やアルツハイマー型認知症などについて解説します。

VOL.2 高齢者の生理機能 II ■ 消化・腎・排泄系 33分

■ 制作協力：山本 恵子 九州看護福祉大学 教授
消化系では咀嚼機能と味覚の変化、嚥下機能の変化、胃の動きとその変化、小腸の動きとその変化、排便機能と大腸の変化について、腎・排泄系では尿の生成、腎機能の変化、排尿機能の変化、腎排泄系のフィジカルアセスメントについて、さらに血糖調節について解説しています。

VOL.3 高齢者の生理機能 III ■ 循環・呼吸系 34分

■ 制作協力：山本 恵子 九州看護福祉大学 教授
循環系では心臓の動きとその変化、血管の変化、粥状動脈硬化、血液の変化について、心血管系のフィジカルアセスメントについて解説しています。呼吸系では、呼吸機能の変化(換気機能、ガス交換機能、クリアランス機能)や呼吸系のフィジカルアセスメントについて解説します。

VOL.4 看護援助 I ■ 急性期から症状安定期までの看護 45分 **NEW**

■ 原案・監修：小野 美香子 元佐久大学 看護学部看護学科 講師
脳梗塞患者をモデルに、急性期から症状安定期の看護を紹介いたします。脳血管疾患の病態、意識レベルの観察や安全管理、口腔ケアや良肢位の保持、体位変換など異常の早期発見や二次的障害の予防、またリハビリテーションに向けた座位訓練や嚥下訓練などのADL拡大、精神的ケアについて解説します。

VOL.5 看護援助 II ■ 回復期リハビリテーションから在宅に向けての看護 33分 **NEW**

■ 原案・監修：小野 美香子 元佐久大学 看護学部看護学科 講師
脳梗塞患者をモデルに、FIMの経時的変化を示しながら回復期から在宅に向けての看護を紹介いたします。生活援助を通じたADLの拡大を中心に「できるADL」と「しているADL」、リハビリテーションを阻害する要因、また在宅に向けた退院指導、退院調整について解説します。

VOL.6 看護援助 III ■ 重度要介護状態の在宅療養者の看護 39分 **NEW**

■ 原案・監修：安川 揚子 元佐久大学 看護学部看護学科 教授
脳梗塞患者をモデルに、重度要介護状態の在宅療養者の看護を紹介いたします。要介護状態の発生要因(フレイル、オーラルフレイル)と看護の視点、要介護認定の仕組み、在宅で生活を継続するために、健康・病状の観察、服薬管理、皮膚の観察とケア(褥瘡、スキンケア)、介護者の支援について解説します。予防、褥瘡の予防や処置、関節拘縮の予防などを中心に解説します。

VOL.7 看護援助 IV ■ 認知症高齢者の看護 42分 **NEW**

■ 原案・監修：安川 揚子 元佐久大学 看護学部看護学科 教授
認知症の現状や将来推計、認知症の症状(中核症状、BPSD)、認知症の病態、認知症の治療(薬物療法、非薬物療法)について説明し、認知症高齢者をモデルに、日常生活における環境調整、適切なケアや援助方法などを中心に解説します。

© 2021 ~ © 2023



老年看護のためのアセスメント事例集

老年看護のアセスメント演習のために作成された、映像による事例紹介番組です。本シリーズでは、傷病により入院した高齢者の入院前後の経過、生活状況、身体症状、入院中に生じる問題などを、モデルを使用して紹介し、高齢者特有の問題や症状とその看護について考え、学ぶことができます。高齢の患者への看護過程の学習、グループディスカッションなどにぜひご活用ください。

■ 全3巻 ■ 各巻価格 ¥28,000 (税込 ¥30,800)
■ セット価格 ¥84,000 (税込 ¥92,400)



■ 原案監修：小長谷 百絵 上智大学 総合人間科学部看護学科 教授

VOL.1 認知症の患者事例 大腿骨頸部骨折により入院した高齢女性 38分

■ 原案協力：三島 奈緒子 上智大学 総合人間科学部看護学科 助手 / 田中 奈津子 上智大学 総合人間科学部看護学科 助手
アルツハイマー型認知症と診断されている山内良子さん(82歳)は、転倒により大腿骨頸部を骨折し、人工骨頭置換術を受けることになりました。この事例では、アセスメントの視点として、入院や安静の指示への理解など認知症の状態と対応、せん妄、リハビリテーションへの理解などしながら、入院当日(手術2日前)から術後2日目、術後13日目の看護場面を紹介いたします。

VOL.2 慢性心不全の患者事例 急性増悪を繰り返す高齢男性 43分

■ 原案協力：患者教育研究会
慢性心不全を抱える太田吉郎さん(81歳)は、心不全の急性増悪により3回目の入院をすることになりました。この事例では、アセスメントの視点として、急性期の呼吸苦への対応、身体の虚弱、生活習慣、心理状態、家族の介護状況などに注目しながら、入院当日からの看護場面を紹介いたします。

VOL.3 パーキンソン病の患者事例 胃瘻造設の意思決定を行う高齢男性 34分

■ 原案協力：三島 奈緒子 上智大学 総合人間科学部看護学科 助手
関根悟さんは70歳でパーキンソン病と診断され、在宅で療養を続けていましたが、次第に身体機能が低下し、誤嚥性肺炎による入院を繰り返すようになりました。この事例では、アセスメントの視点として、症状の進行状況、生活状況、服薬状況、家族の介護状況、患者と家族による治療の自己決定などに着目しながら、診断時、4年後、6年後、9年後の看護場面を紹介いたします。

© 2019